

理学部講演会のお知らせ

平成20年12月9日(火)午前10:30～11:30

会場:本部棟4階404号室

講師:豊島近教授

東京大学分子細胞学研究所生体超高分子研究分野

演題:筋小胞体カルシウムポンプの結晶化と燐脂質

豊島教授の筋小胞体カルシウムポンプのX線結晶構造解析に基づく反応機構研究は膜タンパク質の機能研究に対するX線構造解析の新たな可能性を実証する歴史的成果として世界的に評価されています。この歴史的成果にいたる最も重要な段階の一つはこの膜タンパク質の結晶化であると思われます。

膜タンパク質の結晶化は依然として、生命科学分野で最も困難な研究課題の一つであり、コスト/パフォーマンス(手抜き)を考える研究者には無縁でありましょう。今回、特にお願いして、この結晶化に関するこれまでのご経験を中心としたご講演をお引き受けいただきました。午前中の講演会ですが、膜タンパク質の結晶化に取り組もうとしている(取り組んでいる)研究者、特に大学院生の積極的な参加を期待致します。また、「野心的な研究」と、「無謀な研究」との違いについて考察するよい機会にもなると思われるので、結晶化に従事していない研究者もご参加下さるようお願い申し上げます。

連絡先:生命科学研究科 吉川信也(内線528、0791-58-0190)